

振込・請求データ作成にあたっての注意事項

資金移動サービス(振込・振替、総合振込、給与・賞与振込、口座振替)の振込・請求データを作成の際は、以下の点にご注意ください。

全銀協規定方式(全銀フォーマット)とは、

- ・全銀協標準通信プロトコル(ベーシック手順、TCP/IP手順)によりデータ伝送を行うために全国銀行協会連合会が定めたデータ(ファイル)フォーマットです。
- ・データは4種類の異なるフォーマットのレコード(ヘッダー、データ、トレーラ、エンド)により構成されます。
- ・データ作成の際は、全銀フォーマットに対応した、会計ソフト、給与計算ソフト等で作成できます。
また、全銀フォーマットのデータはテキスト形式なので、テキストエディタ(メモ帳、秀丸等)で参照や編集をしたり、他のテキスト加工ツールなどでデータを整形することもできます。

データ作成時の主な注意点

(1) 金融機関番号と金融機関名、および支店番号と支店名について

- ・インターネットバンキングはデータ受付時に、金融機関番号と金融機関名(または支店番号と支店名)の組み合わせが正しいかどうか、チェックが行われます。正しい組み合わせデータを作成してください。
また、銀行名および支店名には、「・・・ギンコウ」、「・・・エイキョウブ」、「・・・シテン」部分の入力は必要ありません。

例) ナガノギンコウ → ナガノ
ホntenエイキョウブ → ホnten
マツモトエキマシテン → マツモトエキマエ

(2) 依頼人コード、委託者コードについて

- ・依頼人コードおよび委託者コードとは、各金融機関が各お客さまを識別するために採番している10桁の数字のコードです。
- ・依頼人コードおよび委託者コードは、お申込時に長野銀行より通知いたします。ご不明の場合は、長野銀行(フリーダイヤル:0120-089-054)へお問い合わせください。

(3) 使用できる文字コードおよび改行コードについて

- ・使用する文字コードは、JISコード(EBCDICは不可)です。
- ・改行コードは、「CR+LF(0d0a)」、「CR(0d)」、「LF(0a)」の利用が可能です。
- ・エンドレコード後の改行コードおよびEOF(1a)は、任意です。

資料：総合振込(全銀協制定フォーマット)

1. ファイル形式

データ区分1 ヘッダー レコード	データ区分2 データ レコード①	データ区分2 ヘッダー レコード②	データ区分2 ヘッダー レコード⑩	データ区分8 トレーラ レコード	データ区分9 エンド レコード
------------------------	------------------------	-------------------------	-------	-------------------------	------------------------	-----------------------

☆①、②、…、⑩ はデータ・レコードの数を表します。

2. レコードの仕様

項目	内容
レコード長	120バイト
改行(CR RF)をつける場合	120バイトの後に2バイトで収容する
使用コード	JISコード(EBCDIC不可)

桁数欄の「N」は数字(右詰め、前余白は0で埋める)、「C」は半角文字[カタカナ、英大文字、数字の混在](左詰、後余白はスペースとする。)

(1)ヘッダーレコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	1:ヘッダー・コード
2	種別コード	N(2)	21:総合振込
3	コード区分	N(1)	0:JIS
4	会社コード	N(10)	当行が採番した依頼人(委託者)コード
5	会社名	C(40)	振込元の依頼人名
6	振込指定日	N(4)	月日(MMDD):振込指定日【銀行営業日に限る】
7	仕向銀行番号	N(4)	0533:長野銀行の銀行番号
8	仕向銀行名	C(15)	ナガノ(「ギンコウ」部分は不要)
9	仕向支店番号	N(3)	取引支店コード
10	仕向支店名	C(15)	取引支店名称(「シテン」、「エイギョウブ」部分は不要)
11	預金種目	N(1)	1:普通預金、2:当座預金:振込依頼人の預金種目(科目)
12	口座番号	N(7)	振込依頼人の口座番号
13	ダミー	C(17)	スペースとする(未使用)
	計	(120)	

(2)データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	2:データレコード
2	被仕向銀行名	N(4)	振込先金融機関コード(統一金融機関コード)
3	被仕向金ギンコウ名	C(15)	振込先金融機関名称(カナ)(「ギンコウ」部分は不要)
4	仕向支店番号	N(3)	振込先支店コード
5	被仕向支店名	C(15)	振込先支店名称(カナ)(「シテン」、「エイギョウブ」部分は不要)
6	手形交換所番号	N(4)	未使用(ゼロとする)
7	預金種目	N(1)	1:普通預金、2:当座預金、4:貯蓄預金、9:その他
8	口座番号	N(7)	振込先の口座番号(スペース、ハイフン等は入力しない)
9	受取人名	C(30)	受取人名(カナ)
10	振込金額	N(10)	振込依頼金額(0円は入力付加)
11	新規コード	C(1)	未使用(ゼロとする)



項番	項目名	桁数	内容
12	顧客コード1	C(10)	お客さまが付した顧客コード1
13	顧客コード2	C(10)	お客さまが付した顧客コード2

または、

12	EDI情報	C(20)	受取人に対して通知するEDI情報(項番15 識別表示を「Y」とする)
13			

14	振込指定区分	N(1)	7: 電信振込(テレ為替)
15	識別表示	C(1)	スペース: EDI情報を使用しない、Y: EDI情報を使用しない
16	ダミー	C(7)	スペースとする(未使用)
	計	(120)	

(3)トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	8: トレーラ・レコード
2	合計件数	N(6)	データ・レコードの合計件数
3	合計金額	N(12)	データ・レコードの振込金額の合計
4	ダミー	C(101)	スペースとする(未使用)
	計	(120)	

(4)エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	9: エンドレコード
2	ダミー	C(119)	スペースとする(未使用)

資料：給与・賞与振込(全銀協制定フォーマット)

1. ファイル形式

データ区分1 ヘッダー レコード	データ区分2 データ レコード①	データ区分2 ヘッダー レコード②	データ区分2 ヘッダー レコード⑩	データ区分8 トレーラ レコード	データ区分9 エンド レコード
------------------------	------------------------	-------------------------	-------	-------------------------	------------------------	-----------------------

☆①、②、…、⑩ はデータ・レコードの数を表します。

2. レコードの仕様

項目	内容
レコード長	120バイト
改行(CR RF)をつける場合	120バイトの後に2バイトで収容する
使用コード	JISコード(EBCDIC不可)

桁数欄の「N」は数字(右詰め、前余白は0で埋める)、「C」は半角文字[カタカナ、英大文字、数字の混在](左詰め、後余白はスペースとする。)

(1)ヘッダーレコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	1:ヘッダー・コード
2	種別コード	N(2)	11:給与振込、12:賞与振込
3	コード区分	N(1)	0:JIS
4	会社コード	N(10)	当行が採番した依頼人(委託者)コード
5	会社名	C(40)	振込元の依頼人名
6	振込指定日	N(4)	月日(MMDD):振込指定日【銀行営業日に限る】
7	仕向銀行番号	N(4)	0533:長野銀行の銀行番号
8	仕向銀行名	C(15)	ナガノ(「ギンコウ」部分は不要)
9	仕向支店番号	N(3)	取引支店コード
10	仕向支店名	C(15)	取引支店名称(「シテン」、「エイギョウブ」部分は不要)
11	預金種目	N(1)	1:普通預金、2:当座預金:振込依頼人の預金種目(科目)
12	口座番号	N(7)	振込依頼人の口座番号
13	ダミー	C(17)	スペースとする(未使用)
	計	(120)	

(2)データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	2:データレコード
2	被仕向銀行番号	N(4)	振込先金融機関コード(統一金融機関コード)
3	被仕向銀行名	C(15)	振込先金融機関名称(カナ)(「ギンコウ」部分は不要)
4	仕向支店番号	N(3)	振込先支店コード
5	被仕向支店名	C(15)	振込先支店名称(カナ)(「シテン」、「エイギョウブ」部分は不要)
6	手形交換所番号	N(4)	未使用(ゼロとする)
7	引落口座の預金種目	N(1)	1:普通預金、2:当座預金
8	引落口座の口座番号	N(7)	振込先の口座番号(スペース、ハイフン等は入力しない)
9	引落口座の預金者名	C(30)	受取人名(カナ)
10	引落金額	N(10)	振込依頼金額(0円は入力付加)
11	新規コード	C(1)	0:その他、1:第1回引落分、2:変更分



項番	項目名	桁数	内容
12	社員コード	C(10)	お客さまが付した社員コード
13	所属コード	C(10)	お客さまが付した所属コード
16	ダミー	C(9)	スペースとする(未使用)
	計	(120)	

(3)トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	8:トレーラ・レコード
2	合計件数	N(6)	データ・レコードの合計件数
3	合計金額	N(12)	データ・レコードの振込金額の合計
4	ダミー	C(101)	スペースとする(未使用)
	計	(120)	

(4)エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	9:エンドレコード
2	ダミー	C(119)	スペースとする(未使用)

資料：口座振替請求(全銀協制定フォーマット)

1. ファイル形式

データ区分1 ヘッダー レコード	データ区分2 データ レコード①	データ区分2 ヘッダー レコード②	データ区分2 ヘッダー レコード⑩	データ区分8 トレーラ レコード	データ区分9 エンド レコード
------------------------	------------------------	-------------------------	-------	-------------------------	------------------------	-----------------------

☆①、②、…、⑩ はデータ・レコードの数を表します。

2. レコードの仕様

項目	内容
レコード長	120バイト
改行(CR RF)をつける場合	120バイトの後に2バイトで収容する
使用コード	JISコード(EBCDIC不可)

桁数欄の「N」は数字(右詰め、前余白は0で埋める)、「C」は半角文字[カタカナ、英大文字、数字の混在](左詰、後余白はスペースとする。)

(1)ヘッダーレコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	1:ヘッダー・コード
2	種別コード	N(2)	91:預金口座振替
3	コード区分	N(1)	0:JIS
4	委託者(会社)コード	N(10)	当行が採番した依頼人(委託者)コード
5	委託者(会社)名	C(40)	口座振替請求の依頼人名
6	引落指定日	N(4)	月日(MMDD):引落指定日【銀行営業日に限る】
7	引落銀行番号	N(4)	0533:長野銀行の銀行番号
8	引落銀行名	C(15)	ナガノ(「ギンコウ」部分は不要)
9	引落支店番号	N(3)	取引支店コード
10	引落支店名	C(15)	取引支店名称(「シテン」、「エイギョウブ」部分は不要)
11	預金種目	N(1)	1:普通預金、2:当座預金:振込依頼人の預金種目(科目)
12	口座番号	N(7)	振込依頼人の口座番号
13	ダミー	C(17)	スペースとする(未使用)
	計	(120)	

(2)データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	2:データレコード
2	引落銀行番号	N(4)	0533:長野銀行の金融機関番号
3	引落銀行名	C(15)	ナガノ(「ギンコウ」部分は不要)
4	引落支店番号	N(3)	請求先支店コード
5	引落支店名	C(15)	請求先支店名称(カナ)(「シテン」、「エイギョウブ」部分は不要)
6	手形交換所番号	C(4)	未使用(スペース)
7	預金種目	N(1)	1:普通預金、2:当座預金
8	口座番号	N(7)	請求先の口座番号(スペース、ハイフン等は入力しない)
9	預金者名	C(30)	請求先口座の預金者名(カナ)
10	振込金額	N(10)	振込依頼金額(0円は入力付加)
11	新規コード	N(1)	1:第1回引落分、2:変更分(引落店舗、口座番号)、0:その他



項番	項目名	桁数	内容
12	顧客番号	C(20)	お客さまが付した固有の番号
13	振替結果コード	N(1)	未使用(ゼロとする)
16	ダミー	C(8)	スペースとする
	計	(120)	

(3)トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	8:トレーラ・レコード
2	合計件数	N(6)	データ・レコードの合計件数
3	合計金額	N(12)	データ・レコードの振込金額の合計
4	振替済件数	N(6)	未使用(ゼロとする)
5	振替済金額	N(12)	未使用(ゼロとする)
6	振替不能件数	N(6)	未使用(ゼロとする)
7	振替不能金額	N(12)	未使用(ゼロとする)
8	ダミー	C(65)	スペースとする
	計	(120)	

(4)エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	9:エンドレコード
2	ダミー	C(119)	スペース